

“好き”や“楽しい”を見つけよう

保育のねらい：保育者に見守られながら安心できる環境の中で、好きな遊びを見つけて楽しむ。

作成日：2025年5月19日

対象児：1歳児 ばら組

作成者：高橋 加奈



振り返り

新しい環境に慣れ、保育者や友達との関わりが深まる中で、たくさん笑顔が見られるようになったばら組の子ども達。まずは安心して自分を表現すること、子ども達の気持ちに寄り添いながら共感することを心掛け、4月と5月を過ごしました。

そんな中、タオル掛けのところで“いないいないばあ”をして、タオルに隠れて遊んでいる子が数名いました。そこでスズランテープを紐にくくりカーテンのようになると興味を持って近づき、引っ張ったりスズランテープの間をくぐり抜けてみたり、気持ちの赴くままに遊ぶ姿が見られました。他にも、歌に合わせて絵本を見たり、園庭ではお兄さんお姉さんたちに手をつないでもらったり、探索活動をして見つけたものをじっくり観察してみたり、どんどん遊びの方法や行動範囲が広がっています。

子ども達が今、何に興味を示しているのかを関わる中で探りながら『あれやってみたい』『これがしたい』という意欲を高め、好きなものを見つれたり楽しい時間がどんどん増えていくといいなと思います。(健康な心と体、思考力の芽生え、言葉による伝え合い)